

新型コロナウイルス感染症対応

全九州高等学校アーチェリー競技大会実施に関する基本方針

◇「**競技会場**」とは、高志館高校グラウンドの周囲に設置されているフェンス内を指す

「**施設**」「**大会会場**」とは、高志館高校敷地内を指す

【**競技日**】

■原則、競技会は無観客試合とする

競技会場に入場できる者は、選手、監督・引率責任者、競技役員、大会役員、補助員とメディア関係者に限定する

【注1】実施要項 P6、17.新型コロナウイルス感染症対策について、(2)「大会会場内への入場は、チーム関係者(選手・スタッフ・保護者の応援)までとする。……」とあるが、今大会は競技会場への保護者の入場は禁止する

■施設、競技会場、県別控所への入場はマスクの着用を義務付ける

■競技会場内に入場する際は、監督会議で配布されたIDカードを着用する

■競技会場入り口で検温とアルコール消毒を必ず行う

■各県の選手団は指定された県別控所(体育館・武道場・園芸実験教室)で弓具の準備、休憩、待機すること

■こまめな手洗いを行う

■施設内の指定されたトイレを使用し、出入口にアルコールを設置、洗面所にはハンドソープを設置する

【**宿舎・移動**】

『宿泊配宿センターから配宿された全ての宿舎に適用する』

■選手の宿舎：チームの宿舎は密にならないよう、一人1部屋の確保を原則とする

■宿舎での生活で、他室への出入りを禁止する

チーム同士の交流もできるだけ避け、必要最低限とする

食事をする場所や時間をずらすなど密を防ぐ、特にエレベーターボタン、ビッフェなどの前後の指先消毒の励行を徹底する

■宿泊施設独自の対策基準がある場合はそれに従う

■バスで移動する際は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。(1時間に3回の換気、できれば全開でなくても常時開窓が推奨される)

■公共交通機関で移動する場合は、各個々人が政府の推奨する感染予防策を

徹底する

【コロナ感染症に対する管理体制】

■体調管理：朝晩必ず検温を行い、体調チェックを行う

体調不良並びに37.5度以上の選手については宿舎で待機させる。

(大会会場には来させない)

■大会前後に体調チェックを行い、大会前の「九州大会 健康チェックシート」を大会当日に持参し、監督または引率責任者が管理する。発熱者、急病者、濃厚接触者の恐れがある者が確認された場合は、大会本部が該当校参加者の「九州大会健康チェックシート」を提出してもらう

(大会会場へ必ず持参する)

【大会当日、すべての人に求められる対応】

■以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

○体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛・味覚や嗅覚異常などの症状がある場合）

○同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

○過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

■大会会場では、常に『マスク』を持参し着用する

■こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

■握手、声援、ハイタッチなどは行わない

■競技関係者、スタッフ等とのソーシャルディスタンス（できるだけ2m、最低1m）を確保する

■物品の貸し借りは行わない。

■共有物（競技必需品・筆記用具、無線機等）を使用する場合は十分な消毒確認をする

■開催会場及び主催者、管理者が定めた措置を順守し、従うこと

■試合開催終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触の有無等とともに報告すること

■主催者は参加者全員の個人の氏名、連絡先を保持し、緊急時の連絡先を把握する。個人情報新型コロナウイルス感染対策において必要な場合に限られるが、情報集約時に各個人の承諾を得ておくこと

【感染ならびにその疑いがある場合の対応】

『チーム、大会関係者に感染もしくは感染の疑いが発覚した場合の対応』

■体調不良で感染が考えられる人が出た場合、すぐに主催者に連絡して対応に従う

【注2】 感染が確認された場合、公共機関の利用が停止される

【注3】 主催者は感染の疑い者が出た場合、保健所に連絡をいれその指示に従う

【大会出場可否の判断について】

- 大会参加前に、参加選手及び引率関係者に感染者が出て保健所の指示による隔離期間が試合日と重なった場合、出場辞退とする
- アーチェリー部内及び引率関係者に濃厚接触者が出た場合、速やかに顧問が必ず主催者及び学校長に連絡し、出場の有無を協議する

【大会開催中に競技会場で感染者が出た場合】

- 速やかに大会を中断し、全ての者が施設内にとどまり、主催者の指示に従う
 - 【注4】 主催者は速やかに保健所、佐賀県に連絡をいれ、判断を仰ぐ
- 場合によっては、大会が中止になる場合がある
 - 【注5】 延期、簡素化した競技は考えていない
 - 【注6】 大会が中止になった場合の順位は、主催者が方針を協議し、臨時の監督会議を得て決定する
- 保健所による検査・消毒が実施された場合は、全ての要請に従う
- 感染者、濃厚接触者は帰省が困難になる場合がある
入院等が指示された時は、佐賀県内の医療機関に搬送される場合がある